I-O DATA

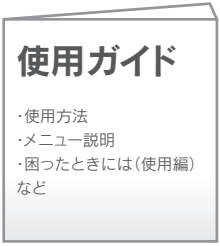
準備ガイド

無線映像伝送システム

WFD-HEDU

・安全上のご注意
・使うまでの準備
・困ったときには（準備編）
・アフターサービス　など

本商品には使用ガイド（別冊）もあります。



HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

B-MANU202109-01

目次

はじめに 4

箱の中には ····· 4
安全のために ····· 5
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 ····· 10
使用上のご注意 ····· 11
ハードウェア仕様 ····· 13
動作環境 ····· 15
各部の名称 ····· 17

準備する 19

ミラプレ Education とは? ····· 19
設置イメージ ····· 20

メモ 23

本製品を使うまでの流れ ····· 24
本体を設置する ····· 26
1. 設置教室と SSID をメモする ····· 26
2. テレビにつなぐ ····· 27
3. 教室内のネットワーク環境を確認する ····· 29
4. ネットワークにつなぐ ····· 30

5. 先生パソコンの Wi-Fi 接続先を確認 / 設定する …… 32
ミラプレ先生の設定をする …… 38
6. 生徒情報を作成する …… 38
7. ミラプレ先生をインストールする …… 41
8. 初期設定する …… 42
9. グループ構成を追加する …… 47
10. 他の先生パソコンに設定をコピーする …… 50
ミラプレ生徒の設定をする …… 54
11. ミラプレ生徒をインストールする …… 54
12. パソコンの Wi-Fi 設定を確認 / 設定する …… 55

困ったときには（準備編） 62

設置でのトラブル …… 62
設定でのトラブル …… 63

アフターサービス 66

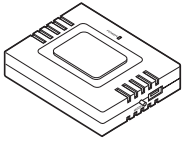
お問い合わせについて …… 66
修理について …… 67
無線 LAN 環境調査サービスのご案内 …… 68
センドバック保守サービスのご案内 …… 69
ハードウェア保証規定 …… 70

※本紙では、Windows 8での画面を例に説明しています。（別途記載がある場合を除きます）

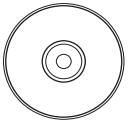
はじめに

箱の中には

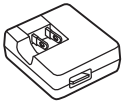
□ 本体：1 台



□ サポートソフトCD: 1枚



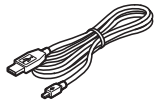
□ AC アダプター：1 個



☑ 準備ガイド（本書）：1 冊



□ USB ケーブル（電源供給用）[約 1.0m] : 1 本



□ 使用ガイド：1 冊



□ HDMI ケーブル [約 1.5m] : 1 本



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ **危険**	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠ **警告**	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ **注意**	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

	**禁止**
	**指示を守る**

⚠ 危険



本製品を修理･改造･分解しない

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⚠ 警告



本製品の小さな部品(ゴム足やネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。



雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターには触れない

感電の原因になります。



ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、火災・感電の原因になります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
- 万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。



煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

そのまま使うと火災・感電の原因になります。



本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

火災の原因になります。



故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。



本製品を病院内で使わない

医療機器の誤動作の原因になります。



本製品を飛行機の中で使わない

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。



ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない

電波によりペースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。

電源(ACアダプター・USBケーブル)について



ACアダプターやUSBケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使わない

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。



AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない

発熱、火災の恐れがあります。



ケーブルやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

USB ケーブルがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。

USBケーブルの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。



ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。



コンセントから抜くときはACアダプターを持って抜く

接続した USB ケーブルを引っ張ると USB ケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。



添付のACアダプターやUSBケーブルは、他の機器につながない

火災や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや USB ケーブルは、本製品専用です。



コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。



じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

火災の原因になります。



熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。



テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

⚠注意



本製品を踏まない

破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。



人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。



長時間にわたり一定の場所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

無線 LAN 製品ご使用時における セキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してスマートフォン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、スマートフォンや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN ブリッジ機能をご使用になる場合は、セキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使用上のご注意

■本製品は電源を入れてから起動完了までに 1 分程度かかります。起動中は絶対に電源を切らないでください。※
※ USB ケーブルを抜かない、テレビの USB ポートにつないでいる場合は、テレビの電源を切らないでください。
製品本体の設定が正しく保持されない、または製品本体が故障する可能性があります。

■最新ファームウェアでのご利用のお願い
本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

■以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
〇ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
〇工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
〇特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

■ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。
ラジオは、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線 LAN 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■間に壁があると、電波が通過せず通信できません。

■本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5 秒以上待ってから電源を入れてください。

■本製品の 5GHz 帯は、屋外で使用しないでください。製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz 帯をご利用ください。
法令により、5GHz 帯の W52(36,40,44,48ch) を屋外で使用することは禁止されています。

■ 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch(W52) です。
34,38,42,46ch(J52) の装置との通信はできません。

■ IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g で 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

ハードウェア仕様

無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n 2.4GHz/5GHz 帯 デュアルバンド
無線 LAN 到達距離	約 10m (遮蔽物なし) ※使用しているパソコンや電波環境条件により異なります。 ※壁越しでの通信はご利用いただけません。
無線 LAN セキュリティ	WPA2-PSK
電源	定格 5V /0.8A(最大) ※ USB ポートを搭載したテレビより電源供給。 (テレビの USB ポートが複数ある場合は、録画用 USB ポートを選択) 以下のような場合は、添付の AC アダプターから電源供給をおこなえます。 ・テレビからの供給電源が不足している場合 ・USB ポートがついていないテレビやモニター、プロジェクター等で使用する場合
最大解像度	Full HD（1920 × 1080p）対応
映像 / 音声形式	H.264 ／ MPEG4 AAC
映像出力	HDMI 出力（Ver.1.3a）
有線 LAN	10BASE-T/100BASE-TX
著作権保護	HDCP 対応

使用温度 / 湿度範囲	5 ～ 35℃ /20 ～ 80%（結露なきこと）
外形寸法	約 95（W）x 70（D）x 27（H）mm （脚部含む）
質量	約 94g （本体のみ）
各種取得規格	電波法取得 電気用品安全法（AC アダプター） RoHS 指令準拠
注意事項	・使用しているパソコンや電波環境条件により、映像や音声が途切れたりする場合があります。 ・一部の著作権保護コンテンツなど、コンテンツの種類によって、テレビ側に表示されない場合があります。 ・側面 USB ポートは、メンテナンス用途のため使用できません。 ・再生環境によっては、コマ落ちなどが発生することがあります。

※最新情報は、弊社 Web サイトをご確認ください。
⇒ http://www.iodata.jp/product/av/ga/wfd-hedu/

動作環境

<table>
<tr><td>対応機種</td><td>DOS/V マシン</td></tr>
<tr><td>対応 OS
（日本語版）</td><td>Windows 8.1（32/64 ビット版）
Windows 8（32/64 ビット版）
Windows 7（32/64 ビット版）

※添付アプリケーションは「ユーザーの切り替え」に対応しておりません。
※ Windows 7 Starter は対応しておりません。
※ Windows 7 の個人設定「ベーシックテーマとハイコントラストテーマ」は対応しておりません。
※ユーザー権限は、管理者、標準のみ対応しております。</td></tr>
<tr><td>動作環境</td><td>
<table>
<tr><td>CPU</td><td>○ノートパソコン
Intel Core2Duo P8700
(2.53 GHz) 以上
○デスクトップパソコン
Intel Core2Duo E6300
（1.86 GHz）以上</td></tr>
<tr><td>メモリー</td><td>2G バイト以上</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td>1G バイト以上の空き容量
※ NTFS ファイルシステムでご使用ください。
※あらかじめ最適化ツール（デフラグ）などで HDD 本来の性能を発揮できるようにしてください。</td></tr>
<tr><td>グラフィックアクセラレータ</td><td>DirectX 10.0 以上サポート</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>動作環境</td><td><table>
<tr><td>ディスプレイ</td><td>XGA（1024 × 768）以上
最大解像度 1920 × 1080</td></tr>
<tr><td>サウンド</td><td>DirectX 10.0 以上サポート</td></tr>
<tr><td>CD-ROM
ドライブ</td><td>アプリケーションのインストール時に
必要</td></tr>
<tr><td>ネットワーク
環境</td><td>Ethernet(100Base-TX 以上)
WLAN (IEEE802.11a/g/n)</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td>・同時に配信できるパソコンの上限は 1 台です。
・ミラプレ先生アプリケーションが認識できるパソコンの上限数は 40 台です
・WFD-HEDU とパソコンを無線で接続する場合の接続パソコン上限数は 1 台です。</td></tr>
</table>

※上記を満たすすべての環境にて動作保証するものではありません。また、グラフィックアクセラレータやハードディスクなどの性能により、コマ落ち等が発生する場合があります。

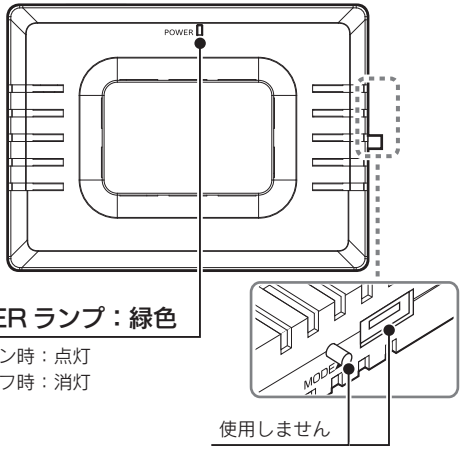
※ DirectX は、マイクロソフト社のホームページより最新版をダウンロードしてください。

※最新情報は、弊社 Web サイトをご確認ください。

⇒ http://www.iodata.jp/product/av/ga/wfd-hedu/

各部の名称

上面

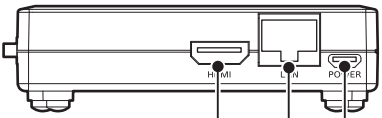


POWER ランプ：緑色

○電源オン時：点灯
○電源オフ時：消灯

使用しません

背面



HDMI 出力端子

HDMI ケーブル（添付）を接続します。

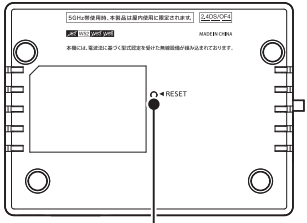
LAN ポート

LAN ケーブル（別途用意）を接続します。

電源コネクター

USB ケーブル（添付）を接続します。
※本体には電源ボタンがありません。電源をオフにする場合はケーブルを抜いてください。

底面



リセットボタン

初期化し、本体の設定を出荷時に戻します。
必要に応じておこなってください。
＜手順＞
①テレビと本体の電源をオンにします。
（本体の [POWER] ランプが点灯していることを確認します。）

②リセットボタンを細いピンなどで 10 秒以上押し続けてから、離します。
⇒本体の画面が一瞬消えた後、「電源を入れ直してください」と
メッセージが表示されます。

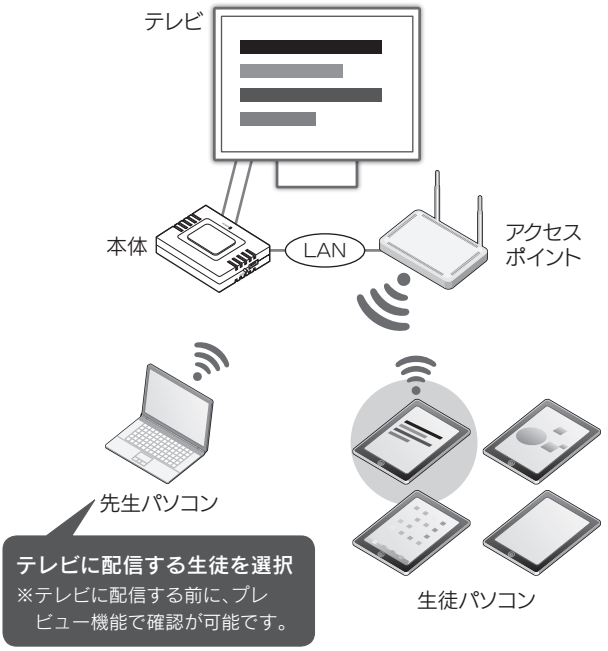
③ [電源コネクター] から USB ケーブルを抜いて、再度挿します。

④テレビに本体の画面が映ったら、完了です。

準備する

ミラプレ Education とは?

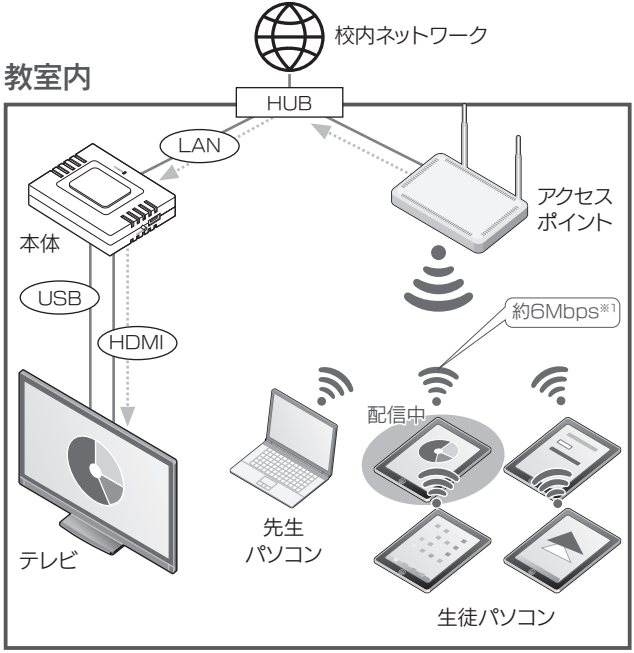
先生や生徒パソコンの画面 / 音声を、ワイヤレスで教室内のテレビに配信できる、授業を快適に進められるソリューションです。先生と生徒のパソコンにアプリケーションをインストールし、先生のパソコンからの操作で、生徒のパソコン画面 / 音声をテレビに配信します。生徒はログイン後は操作の必要がないため、円滑に授業を進行できます。



設置イメージ

本製品は、すでにある校内ネットワークを利用し、導入します。

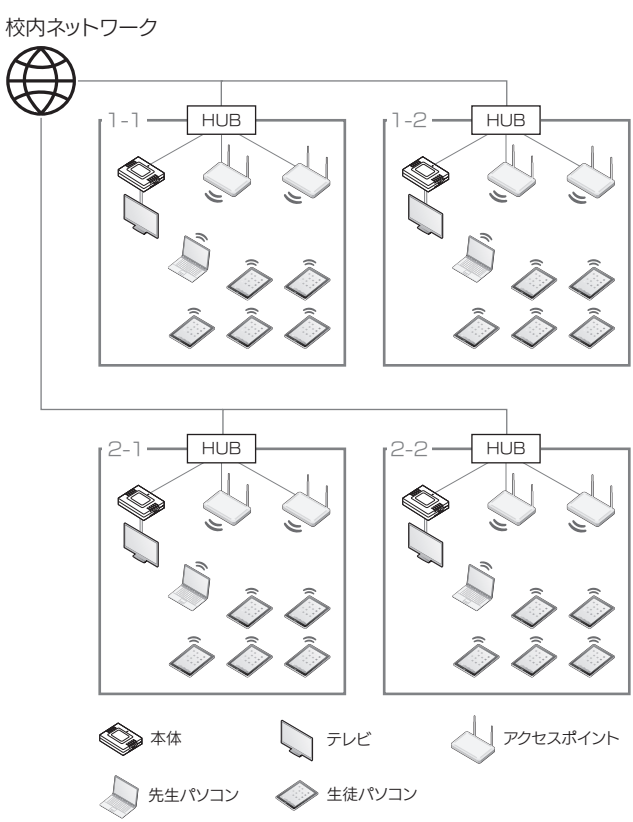
▼教室内にアクセスポイントがある場合



※1 パソコンから本体に画面を配信する際、無線映像伝送に約6Mbps使います。既設の無線LAN環境に設置する場合は、ネットワーク管理者またはシステム管理者にご確認ください。

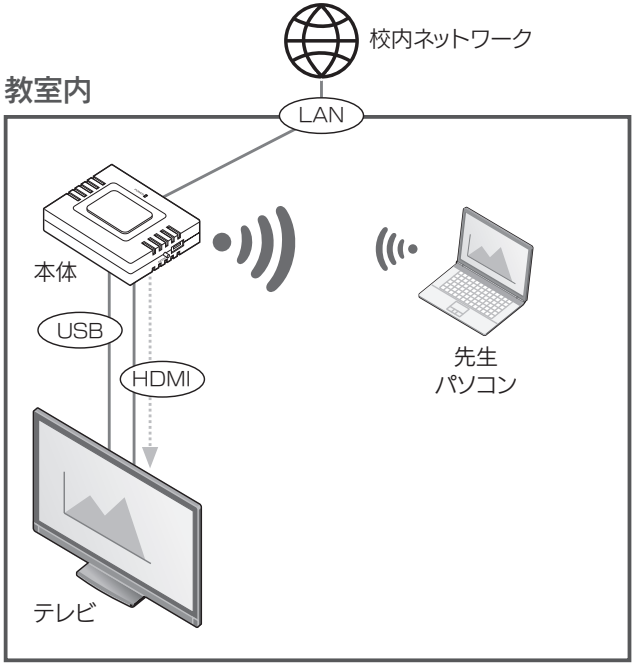
※ 同時に配信できるパソコンの上限は1台です。

例：校内に本体を複数台設置したとき



▼教室内にアクセスポイントがない場合

※先生パソコン 1 台だけ接続できます。この場合、先生パソコンの画面しかテレビに配信できません。
生徒パソコンを接続する場合は、教室内にアクセスポイント（別売）を設置してください。



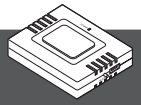
※本体を校内ネットワークにつなぐことで、先生パソコンが本体を通して校内ネットワークにアクセスできるようになります。

メモ

本製品を使うまでの流れ

具体的な手順は各ページをご覧ください。

本体を設置する



1. 設置教室と SSID をメモする ····· P.26
2. テレビにつなぐ ····· P.27
3. 教室内のネットワーク環境を確認する P.29
4. ネットワークにつなぐ ····· P.30
5. 先生パソコンの Wi-Fi 接続先を確認 / 設定する P.32

ミラプレ先生の設定をする



6. 生徒情報を作成する ····· P.38
7. ミラプレ先生をインストールする ····· P.41
8. 初期設定する ····· P.42
9. グループ構成を追加する ····· P.47
10. 他の先生パソコンに設定をコピーする P.50



ミラプレ生徒の設定をする

11. ミラプレ生徒をインストールする···· P.54
12. パソコンの Wi-Fi 設定を確認 / 設定する P.55

以上で設定は完了です。本製品をご利用いただけます。

(参考)

先生パソコンの画面のみテレビに配信させる場合、以下の項目をおこなってください。手順は各ページをご覧ください。

本体を設置する

1. 設置教室と SSID をメモする ····· P.26
2. テレビにつなぐ ····· P.27
4. ネットワークにつなぐ ····· P.30
5. 先生パソコンの Wi-Fi 接続先を確認 / 設定する P.32

ミラプレ先生の設定をする

7. ミラプレ先生をインストールする ····· P.41
8. 初期設定する ····· P.42
10. 他の先生パソコンに設定をコピーする····· P.50

本体を設置する

1. 設置教室と SSID をメモする

校内ネットワークに本体を 2 台以上設置する場合、設置教室と設置する本体の SSID をメモしてください。「ミラプレ先生の設定」で必要です。

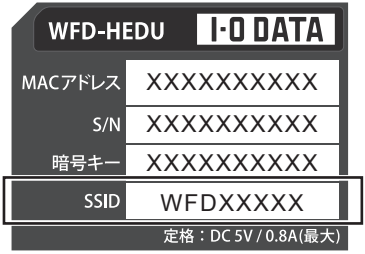
※校内ネットワークに本体を 1 台のみ設置する場合は、本手順は不要です。【2．テレビとつなぐ】にお進みください。

「設置教室」と本体の「SSID」をメモする

例）

設置教室	SSID
1-1	WFDXXXXX
1-2	WFDXXXXX
理科室	WFDXXXXX

⇒「SSID」は本体底面のシール内に記載されています。



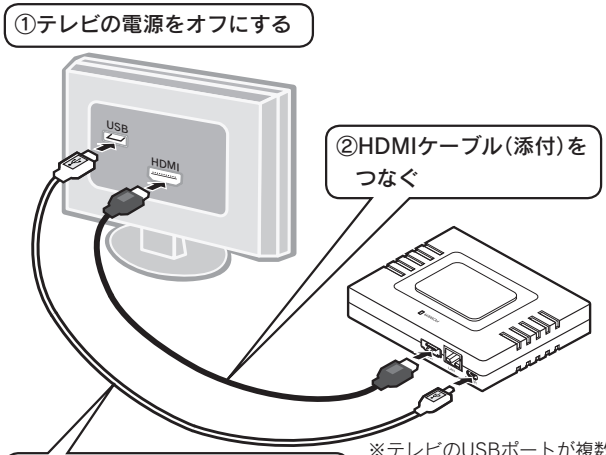
以上で、設置教室と SSID のメモは完了です。
つづいて次ページにお進みください。

2. テレビにつなぐ

本体を設置教室のテレビにつなぎます。
つなぐと、本体の映像がテレビに表示されるようになります。

1 以下の順番でつなぐ

※テレビのHDMIポート および USB ポートの位置は機種により異なります。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。



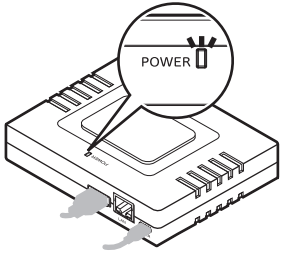
※テレビのUSBポートが複数ある場合は、録画用USBポートにつないでください。

ヒント

テレビにUSB ポートがない場合

添付のACアダプターをご利用ください。
ACアダプターにUSBケーブルをつなぎ、コンセントに挿し込みます。使用後、電源をオフにする場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

2 テレビの電源をオンにし、POWERランプの点灯を確認する



3 テレビの入力をHDMIに切り替え、本体の画面が表示されていることを確認する



本体の MAC アドレスと SSID

以上で、テレビとつなぐは完了です。
つづいて次ページにお進みください。

ヒント

本体の電源オフについて

本体には電源ボタンがありません。テレビの電源をオフにすれば、本製品も電源オフになります。

3. 教室内のネットワーク環境を確認する

本体を設置する教室のネットワーク環境を確認します。
教室内のアクセスポイントの有無により、本体をネットワークにつなぐ方法が異なります。
ネットワーク環境が不明な場合は、校内のネットワーク管理者などにお問い合わせください。

アクセスポイントがある場合

【4. ネットワークにつなぐ】- アクセスポイントがある場合（P.30）にお進みください。

アクセスポイントがない場合

先生パソコン 1 台だけ接続する（生徒パソコンは接続しない）



【4. ネットワークにつなぐ】- アクセスポイントがない場合（P.31）にお進みください。

生徒パソコンを 1 台以上接続する



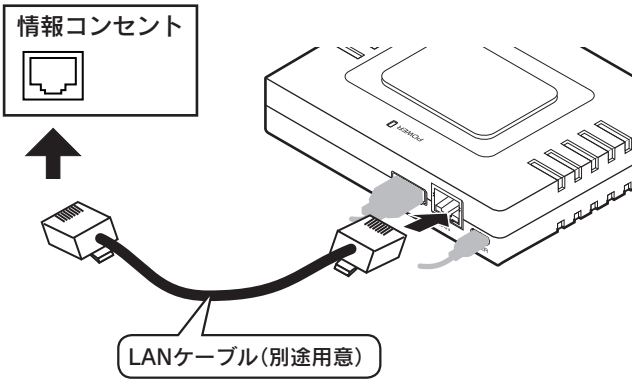
アクセスポイントが必要です。
別途ご購入ください。
推奨商品：
弊社製「WHG-NAPG/A」

4. ネットワークにつなぐ

アクセスポイントがある場合

本体を教室内の情報コンセントにつなぐ

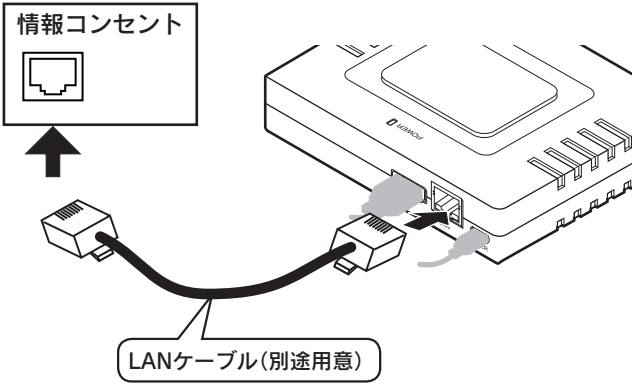
※先生、生徒のパソコンと [ネットワークの同一セグメント] 上にある情報コンセントにつないでください。異なるセグメントにつないだ場合は、ご利用いただけません。



以上で、ネットワークにつなぐは完了です。
つづいて【5. 先生パソコンの Wi-Fi 接続先を確認 / 設定する】- アクセスポイントがある場合（P.32）にお進みください。

アクセスポイントがない場合

本体を教室内の情報コンセントにつなぐ



以上で、ネットワークにつなぐは完了です。
つづいて【5. 先生パソコンの Wi-Fi 接続先を確認 / 設定する】- アクセスポイントがない場合（P.34）にお進みください。

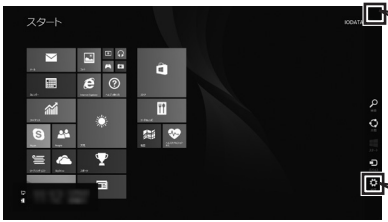
5. 先生パソコンの Wi-Fi 接続先を確認 / 設定する

アクセスポイントがある場合

本体とネットワークの同一セグメント上にあるアクセスポイントに、先生パソコンが Wi-Fi 接続されていることを確認します。

▼ Windows 8 の場合

1



①画面右上にマウスをかざす

②[設定]をクリック

2



無線のアイコンをクリック

3



本体とネットワークの同一セグメント上にあるアクセスポイントに、接続されていることを確認する

▼ Windows 7 の場合

1



2



以上で、先生パソコンの Wi-Fi 接続先の確認は完了です。
つづいて【6. 生徒情報を作成する】（P.38）にお進みください。

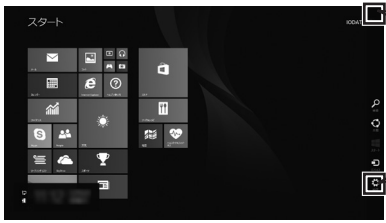
アクセスポイントがない場合

先生パソコンを本体と Wi-Fi 接続します。

＜設定方法＞

▼ Windows 8 の場合

1



①画面右上にマウスをかざす

②[設定]をクリック

2



無線のアイコンをクリック

3



①[WFDXXXXX]をクリック

※ XXXXX は 5 桁の数字です。
※テレビ画面に表示されています。

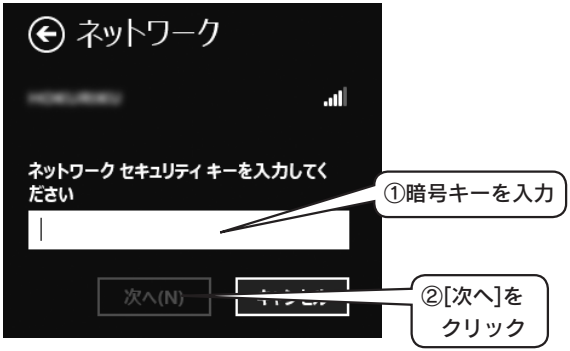
②[接続]をクリック

ヒント

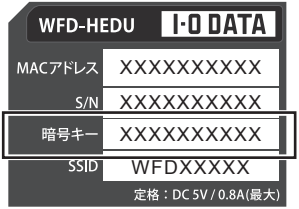
「WFDXXXXX」が表示されない

【困ったときには】の「パソコンのWi-Fi設定で、本体のSSID「WFDXXXXX」が表示されない」(P.62)をご覧ください。

4



※暗号キーは、本体底面の定格シールをご確認ください。



▼ Windows 7 の場合

1



2

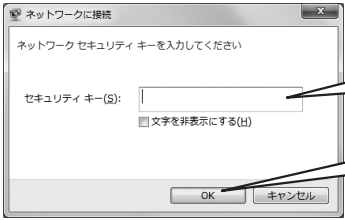


ヒント

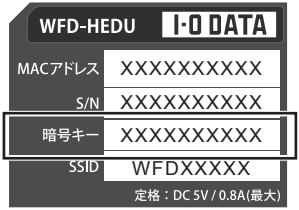
「WFDXXXXX」が表示されない

【困ったときには】の「パソコンのWi-Fi設定で、本体のSSID「WFDXXXXX」が表示されない」(P.62)をご覧ください。

3



※暗号キーは、本体底面の定格シールをご確認ください。



以上で、先生パソコンの Wi-Fi 接続先の設定は完了です。

これで、本体の設置はすべて完了です。
つづいて【7. ミラプレ先生をインストールする】（P.41）にお進みください。

ミラプレ先生の設定をする

6. 生徒情報を作成する

エクセルを使い、生徒情報を CSV ファイルで作成します。
全クラスの生徒情報を 1 つのファイルで作成します。
※先生パソコンのみテレビに配信させる場合、本設定は不要です。

1 エクセルを開き、以下の情報を入力する

※利用する生徒全員分を入力してください。
A 列：クラス※1
B 列：生徒名（漢字）
C 列：生徒名（ひらがな）
D 列：生徒番号（任意の数字 6 桁）※2
E 列：備考（必要に応じて生徒に関するメモなどを入力）
※1:1 クラスに登録できる生徒は 40 人までです。
※2: 生徒番号は生徒のログイン ID になります。
※: 配信の際、入力した情報がテレビに表示されることはありません。

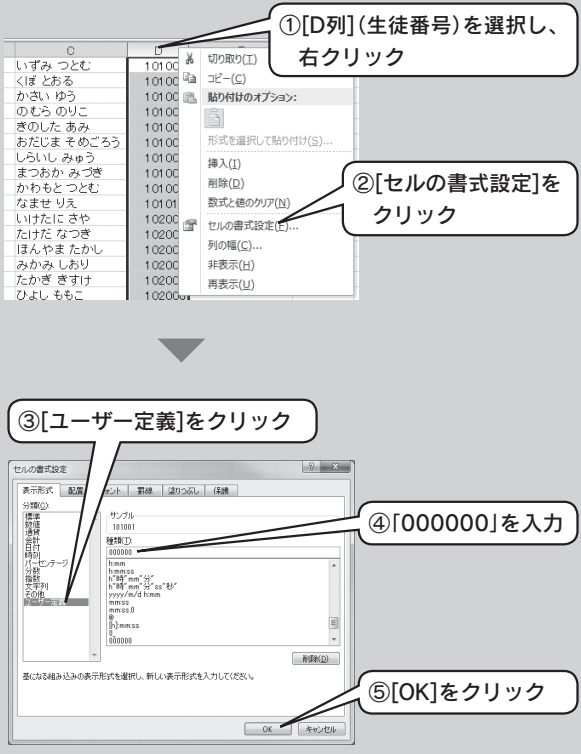
▼入力例

	A	B	C	D	E
1	1年1組	泉 勤	いずみ つとむ	101001	
2	1年1組	久保 徹	くぼ とおる	101002	
3	1年1組	葛西 優	かさい ゆう	101003	
4	1年1組	野村 法子	のむら のりこ	101004	
5	1年1組	木下 有海	きのした あみ	101005	学級委員
6	1年1組	小田島 染五郎	おだじま そめごろう	101006	
7	1年1組	白石 美優	しらいし みゆう	101007	
8	1年1組	松岡 美月	まつおか みづき	101008	
9	1年1組	川本 努	かわもと つとむ	101009	
10	1年1組	生瀬 りえ	なませ りえ	101010	
11	1年2組	池谷 沙耶	いけたに さや	102001	
12	1年2組	武田 奈月	たけだ なつき	102002	
13	1年2組	本山 高史	ほんやま たかし	102003	学級委員
14	1年2組	三上 詩織	みかみ しおり	102004	
15	1年2組	高木 基祐	たかぎ きすけ	102005	
16	1年2組	比嘉 桃子	ひよし ももこ	102006	
17	1年2組	稲田 友以乃	いなだ ゆいの	102007	
18	1年2組	白井 鷹太	しらい けいた	102008	
19	1年2組	吉井 光	よしい ひかる	102009	
20	1年2組	綾瀬 千夏	あやせ ちなつ	102010	

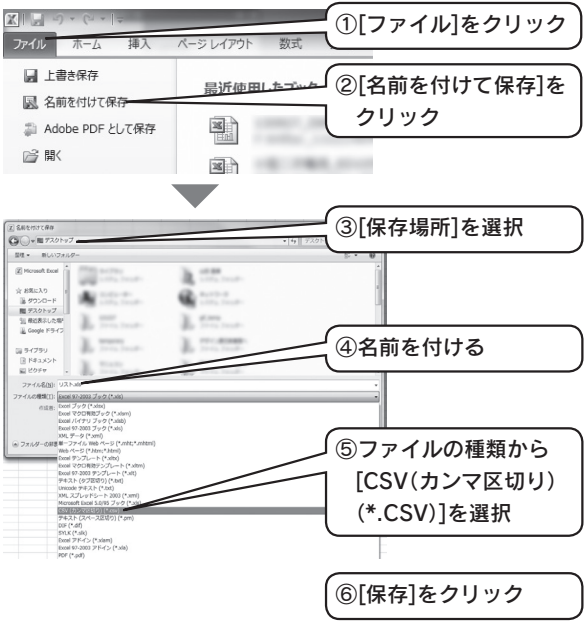
注意

D列：生徒番号の入力について

生徒番号の先頭に「0（ゼロ）」がある場合、エクセル上には「0」が表示されません。
以下の設定をすると「0」が表示されます。



2 CSV形式でデスクトップ上などに保存する



※確認メッセージが表示された場合、[OK][はい]をクリックしてください。

以上で、生徒情報の作成は完了です。
つづいて次ページにお進みください。

7. ミラプレ先生をインストールする

本製品に添付のサポートソフト CD を用意し、以下手順でインストールしてください。

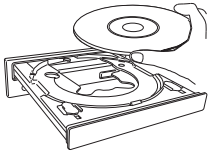
※管理者権限でインストールしてください。

ヒント

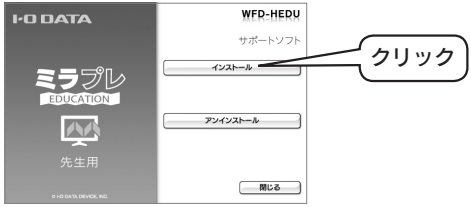
CDドライブがない場合、以下の弊社Webサイトからサポートソフトをダウンロードできます

⇒ http://www.iodata.jp/r/4551

1 パソコンにサポートソフトCDをセットする



2 [インストール]をクリックする



⇒画面の指示に従って進めます。

パソコンの再起動が要求されたら、再起動します。

以上で、ミラプレ先生のインストールは完了です。

つづいて【8. 初期設定する】(P.42) にお進みください。

8. 初期設定する

初期設定では、生徒情報のインポート、教室と本体の登録をおこないます。まず先生パソコン 1 台におこなってください。
初期設定完了後、1 台目に設定した内容（生徒情報、グループ設定、教室と本体の登録情報）を他の先生パソコンにコピーすることができます。

手順を始める前に以下をご確認ください。

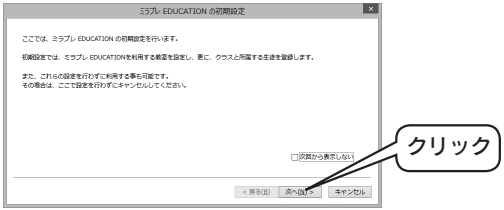
○設置したすべての本体の電源をオンにする
※テレビの電源もオンにしてください。
○設置教室と本体のSSIDのメモを用意する

1 デスクトップ上の[ミラプレ先生]をダブルクリックする

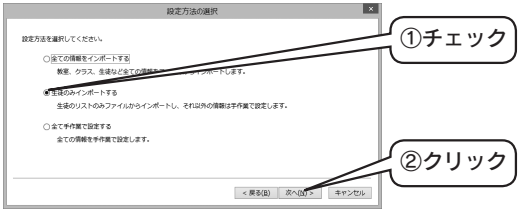


⇒初回起動時（設定情報がない場合）は、初期設定画面が起動します。

2 [次へ]をクリックする

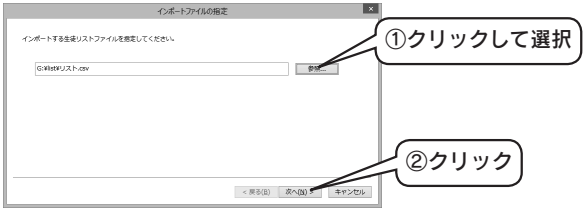


3 [生徒のみインポートする]にチェックし、[次へ]をクリックする



※先生パソコンのみテレビに配信する場合、[全て手作業で設定する]を選択し、手順5にお進みください。

4 【6.生徒情報を作成する】で作成したCSVファイルを選択し、[次へ]をクリックする



ヒント

CSVファイルは削除せずに保管してください

生徒情報を登録しなおすときに必要です。

以上で、生徒情報のインポートは完了です。

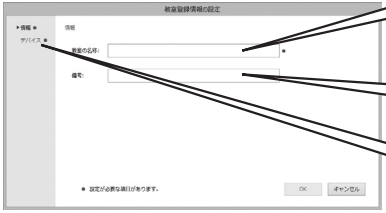
続いて、教室と本体の組み合わせを登録します。

※登録した場合、使用時に、選んだ教室の本体のみが画面に表示されます。
登録しなかった場合、使用時に、設置されている全ての本体が表示され、見分けにくくなります。

5 [新規登録]をクリックする



6 [教室の名称]と[備考](任意)を入力し、[デバイス]をクリックする



7 教室に設置した本体にチェックし、[OK]をクリックする

※「名称」にはパソコンとネットワークの同一セグメント上にある本体のSSIDが表示されます。設置教室と本体のSSIDを記録したメモを確認しながら選択してください。

※登録する教室に複数の本体を設置した場合、すべてにチェックします。



ヒント

本体が表示されない場合は

【困ったときには】の「教室登録情報の設定画面に、本体が表示されない」(P.64)をご覧ください。

8 複数の教室に本体を設置した場合、手順5～7を繰り返して、すべての教室を登録する

9 登録が終わったら、[次へ]をクリックする



10 読み込まれた生徒、クラス/グループが順番に表示されるので、[次へ]をクリックする

※先生パソコンのみテレビに表示する場合、生徒、クラス/グループは表示されません。そのまま[次へ]をクリックして進めてください。

11 完了画面が表示されたら、[完了]をクリックする



以上で、初期設定は完了です。
つづいて次ページにお進みください。

9.グループ構成を追加する

必要に応じて、通常のクラスとは別のグループ構成を追加できます。例えば、授業により 1 クラスを算数上級コース / 算数初級コースに分ける場合や、クラブ活動などクラスとは別の設定を追加したいときに便利です。

※グループ構成の追加が不要な場合は、読み飛ばしてください。
　必要に応じて、後ほどおこなうこともできます。
※先生パソコンのみテレビに配信させる場合、本設定は不要です。

1 エクセルを開き、以下の情報を入力する

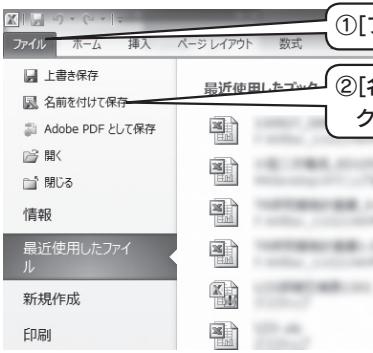
1 行目：グループ名
2 行目以降：生徒番号
※設定済みの生徒番号を入力してください。

▼入力例

	A
1	算数上級コース
2	101001
3	101002
4	101003
5	101007
6	101008
7	算数初級コース
8	101004
9	101005
10	101006
11	101010
12	102001
13	102002
14	パソコンクラブ
15	102004
16	102005
17	102006
18	102007
19	102008
20	102009

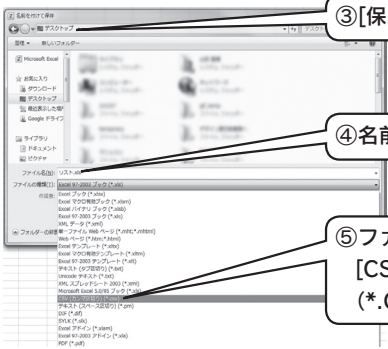
※複数のグループを一度に登録できます。
最初のグループの生徒番号の後に続けて、2番目以降のグループ名と生徒番号を記入してください。

2 CSV形式でデスクトップ上などに保存する



①[ファイル]をクリック

②[名前を付けて保存]をクリック



③[保存場所]を選択

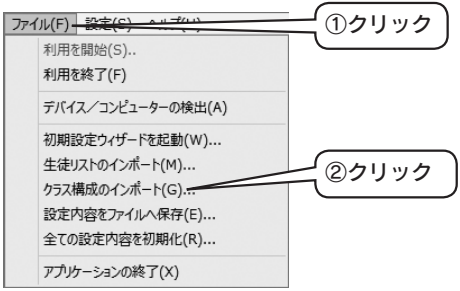
④名前を付ける

⑤ファイルの種類から[CSV(カンマ区切り)(*.CSV)]を選択

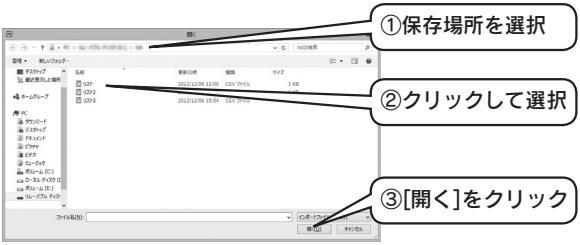
⑥[保存]をクリック

※確認メッセージが表示された場合、[OK][はい]をクリックしてください。

3 ミラプレ先生を起動し、[ファイル]→[クラス構成のインポート]をクリックする



4 作成したCSVファイルを選択し、[開く]をクリックする

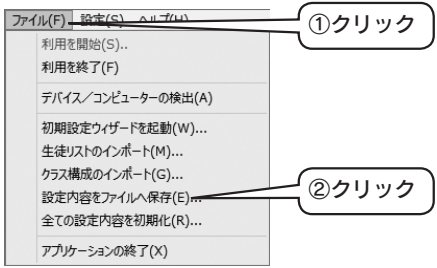


以上で、グループ構成の追加は完了です。
つづいて【10. 他の先生パソコンに設定をコピーする】（P.50）にお進みください。

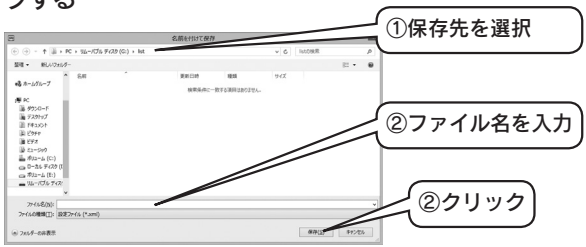
10. 他の先生パソコンに設定をコピーする

必要に応じて、1 台目に設定した内容（生徒情報、グループ構成、教室と本体の登録情報）を、丸ごと他の先生のパソコンにコピーします。

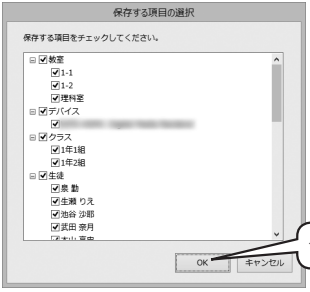
1 1台目の先生パソコン(コピー元のパソコン)で、ミラプレ先生を起動し、[ファイル]→[設定内容をファイルへ保存]をクリックする



2 保存先を選択し、ファイル名を入力し、[保存]をクリックする



3 [OK]をクリックする



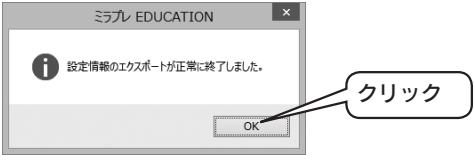
ヒント

必要な項目のみコピーすることができます

必要に応じて、コピー不要な項目のチェックを外してください。

※通常は、そのまま[OK]をクリックしてください。

4 [OK]をクリックする



5 エクスポートされたXMLファイルをUSBメモリーなどを使って、他の先生パソコンにコピーする

6 他の先生パソコン(コピー先)にミラプレ先生をインストールする

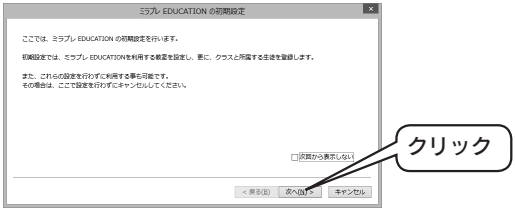
※手順は【7.ミラプレ先生をインストールする】(P.41)をご覧ください。

7 デスクトップ上の[ミラプレ先生]をダブルクリックする

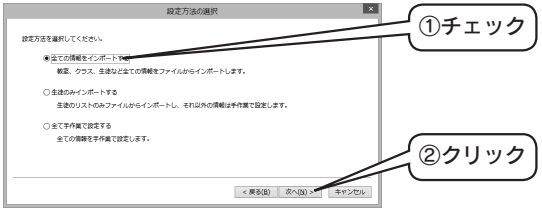


⇒初期設定画面が起動します。

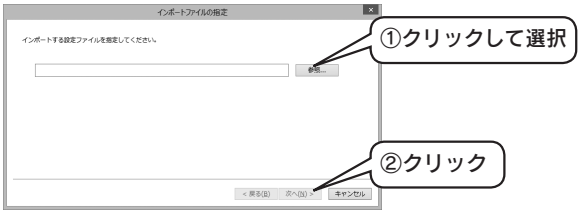
8 [次へ]をクリックする



9 [全ての設定をインポートする]にチェックし、[次へ]をクリックする



10 インポートするXMLファイルを選択し、[次へ]をクリックする



11 完了画面が表示されたら、[完了]をクリックする

ヒント

XMLファイルの登録に失敗した場合

【困ったときには】の「XMLファイルのインポートに失敗する」(P.64)をご覧ください。

以上で、他の先生パソコンに設定をコピーするは完了です。
つづいて【11. ミラプレ生徒をインストールする】(P.54) にお進みください。

ミラプレ生徒の設定をする

11. ミラプレ生徒をインストールする

※ミラプレ生徒は本製品に添付されていません。別途購入が必要です。
※管理者権限でインストールしてください。
管理者権限以外の場合、管理者パスワードの入力が要求されます。

1 生徒パソコンに「ミラプレ生徒(型番:WFD-APPSシリーズ)」(別売)のCDをセットする

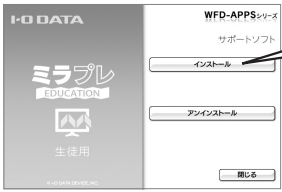
ヒント

CDドライブがない場合、弊社Webサイトから、「ミラプレ生徒」をダウンロードできます

詳しくは、ミラプレ生徒に添付されている取扱説明書をご覧ください。

※ミラプレ生徒のパッケージに記載されている使用許諾の端末台数は、ミラプレ生徒をインストールするパソコンおよびタブレットの合計台数です。

2 [インストール]をクリックする



⇒画面の指示に従って進めます。パソコンの再起動が要求されたら、再起動します。

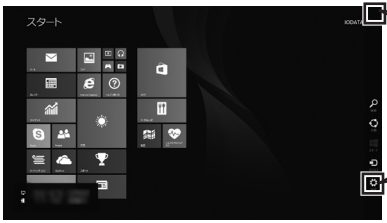
以上で、ミラプレ生徒のインストールは完了です。
つづいて次ページにお進みください。

12. パソコンの Wi-Fi 設定を確認 / 設定する

本体とネットワークの同一セグメント上にあるアクセスポイントに、生徒パソコンが Wi-Fi 接続されていることを確認します。

▼ Windows 8 の場合

1



①画面右上にマウスをかざす

②[設定]をクリック

2



無線のアイコンをクリック

3



本体とネットワークの同一セグメント上にあるアクセスポイントに、接続されていることを確認する

ヒント

ネットワークの種別について

ネットワークの種別が「パブリックネットワーク」になっている場合、本製品を使用できません。
【ネットワークの種別を変更する場合】(P.57)を参照し、「ホームネットワーク」または「社内ネットワーク」に設定してください。

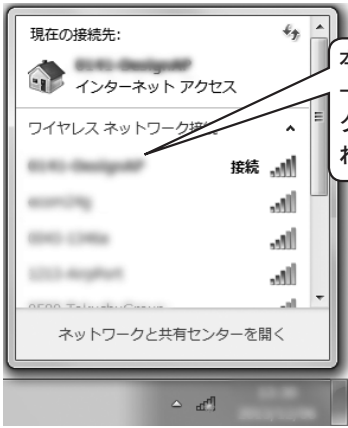
以上で、生徒パソコンの Wi-Fi 接続先の確認は完了です。

▼ Windows 7 の場合

1



2



ヒント

ネットワークの種別について

ネットワークの種別が「パブリックネットワーク」になっている場合、本製品を使用できません。
【ネットワークの種別を変更する場合】(P.57)を参照し、「ホームネットワーク」または「社内ネットワーク」に設定してください。

以上で、生徒パソコンの Wi-Fi 接続先の確認は完了です。

これで本製品を使用できます。使用方法については、別冊の 使用ガイド をご覧ください。

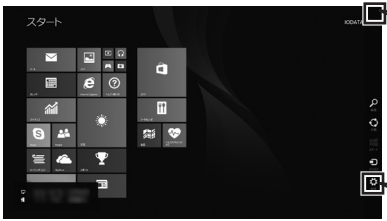
ネットワークの種別を変更する場合

ネットワークの種別が「パブリックネットワーク」になっている場合、
「ホームネットワーク」または「社内ネットワーク」に設定してください。

※ Wi-Fi 接続、有線 LAN 接続のどちらの場合でも設定が必要です。
※既に設定済みの場合は、本手順は不要です。

▼ Windows 8.1 の場合

1



①画面右上に
マウスを
かざす

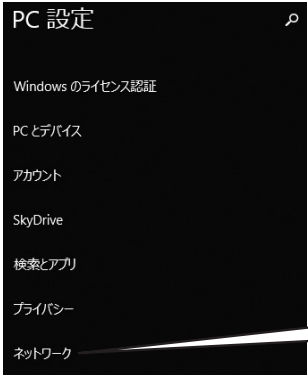
②[設定]を
クリック

2

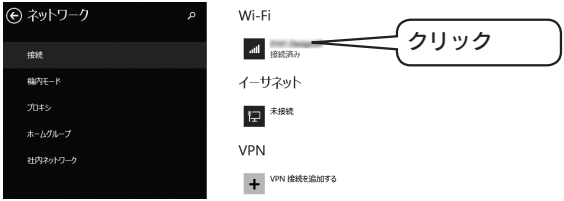


[PC設定の変更]
をクリック

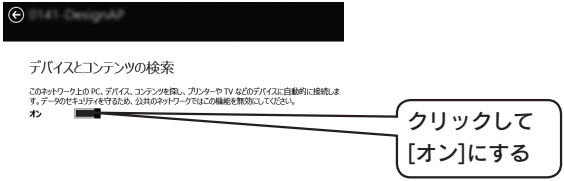
3



4



5

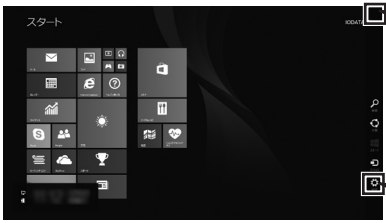


6 パソコンを再起動する

以上で、完了です。

▼ Windows 8 の場合

1



①画面右上にマウスをかざす

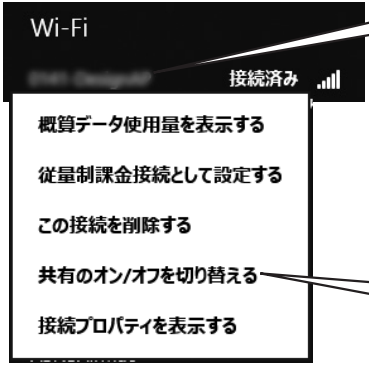
②[設定]をクリック

2



無線のアイコンをクリック

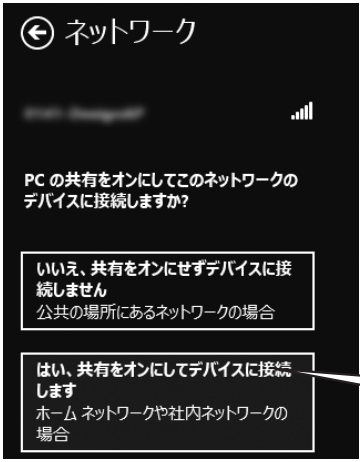
3



①ネットワーク名を右クリック

②クリック

4

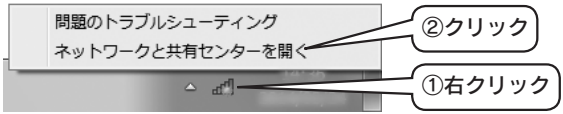


5 パソコンを再起動する

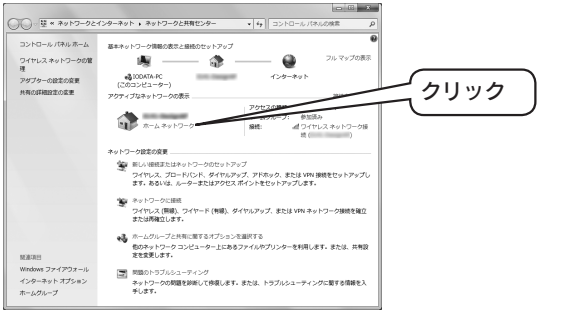
以上で、完了です。

▼ Windows 7 の場合

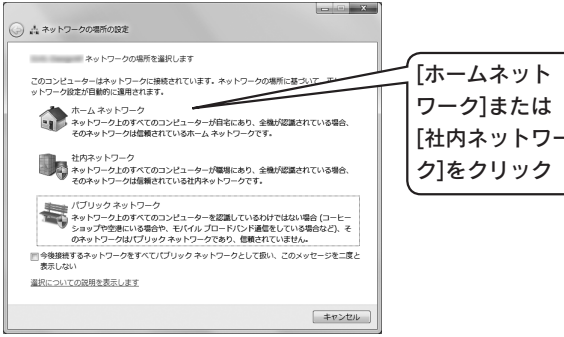
1



2



3



4 パソコンを再起動する

以上で、完了です。

困ったときには（準備編）

準備中に困ったときは、以下をご確認ください。
※ [Exxx] はエラーメッセージ内に表示されるエラーコードです。（xxx は任意の数字）
※使用中に困ったときは、「使用ガイド」（別冊）の【困ったときには】をご覧ください。

■設置でのトラブル

テレビのUSB端子につないでも、本体の[POWERランプ]が点灯しない
テレビにUSB端子がない

- テレビのUSB 端子から本製品への電源供給が、不足している可能性があります。
  テレビにUSB端子が複数ある場合は、接続先のUSB端子を録画用USB端子に変えてみてください。
- 添付のACアダプターをご利用ください。

パソコンのWi-Fi設定で、本体のSSID「WFDXXXXX」が表示されない

- パソコンと本体の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてお試しください。
- パソコンを本体に近づけてお試しください。

■設定でのトラブル

ミラプレ先生起動時に、初期設定画面が表示されない

- すでにミラプレ先生に設定情報がある場合は、初期設定画面が表示されません。
  設定を変更したい場合は、メニューから[設定]→[設定]をクリックしてください。
  現在の設定情報を消し、初期設定からやり直したい場合は、メニューから[ファイル]→[初期設定ウィザードを起動]をクリックしてください。
  (初期設定をする場合は、一旦すべての設定情報を削除する必要があります。設定の削除は、メニューから[ファイル]→[全ての設定内容を初期化]でおこなうことができます。)

初期設定画面を表示中、[キャンセル]をクリックするなどして、画面を途中で閉じてしまった

- 設定を進めていない場合
  メニューから[ファイル]→[初期設定ウィザードを起動]をクリックし、再度起動してください。
- 途中まで設定を進めた場合
  1)[ファイル]→[全ての設定内容を初期化]をクリックして、一度初期化します。
  2)[ファイル]→[初期設定ウィザードを起動]をクリックして、再度設定をします。

[E003]　教室登録情報の設定画面に、本体が表示されない

●[キャンセル]で教室登録情報の設定画面のみを閉じ、以下をご確認ください。

1)[ファイル]→[デバイス／コンピュータの検出]をクリックしてどうか

2)本体の電源がオンになっているか（USBケーブルが接続され、[POWERランプ]が点灯しているか）

3)本体を設置した教室に移動してみてどうか

4)アクセスポイントがある場合、本体がパソコンと同一のネットワークにLANケーブルで接続されているか

5)アクセスポイントがない場合、パソコンと本体がWi-Fi接続されているか

確認後、約1分お待ちいただき、[新規登録]をクリックし、本体が表示されないかお試しください。

[E002]　XMLファイルのインポートに失敗する

●以下の手順で再度実行してください。

1)[ファイル]→[全ての設定内容を初期化]をクリックして、一度初期化します。

2）先生パソコンを再起動します。

2)ミラプレ先生を起動し、初期設定画面が表示されるので、[次へ]をクリックします。

3）[全ての設定をインポートする]にチェックし、[次へ]をクリックします。

4）XMLファイルを選択し、[次へ]をクリックします。

[E001]　生徒リストのインポートに失敗する

●インポートするCSVファイルの内容が正しいかご確認ください。
入力例は【6.生徒情報を作成する】(P.38)をご覧ください。
＜入力する情報＞
A列：クラス
B列：生徒名（漢字）
C列：生徒名（ひらがな）
D列：生徒番号（任意の数字6桁）
E列：備考（必要に応じて生徒に関するメモなどを入力）

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

本書の「困ったときには（準備編）」を参照（P.62）

使用ガイド（別冊）の「困ったときには（使用編）」を参照

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

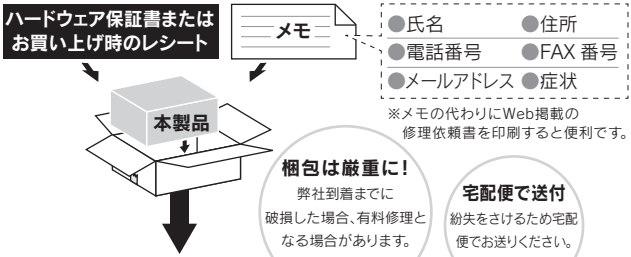
それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3018
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
FAX：076-260-3360
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

＜ご用意いただく情報＞
製品情報（製品名、シリアル番号など）、接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

無線 LAN 環境調査サービスのご案内

無線 LAN 環境調査サービスとは

お客様の疑問点・問題点を解決し、快適な無線 LAN 運用をおこなうためのサービスです。

無線 LAN 環境調査サービスのお問い合わせ先



インフォメーションデスクへ

電話：0120-777-618
※受付時間　10：00～17：00
　月～金曜日（祝祭日、年末年始、夏期休暇をのぞく）

詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

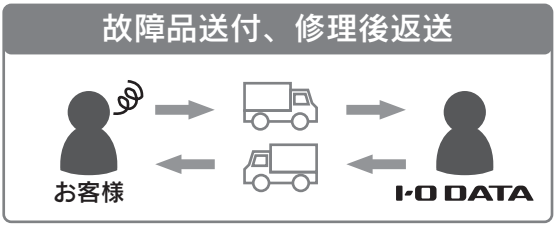
⇒ http://www.iodata.jp/support/service/iss/sitesurvey/

センドバック保守サービスのご案内

センドバック保守サービスとは

製品に異常があった場合に、故障品を当社宛てに送付いただき、修理・動作確認後にご返却いたします。最長 5 年間まで保証を延長できる安心の保守サービスです。

●最長 5 年の長期保証
●ハードウェアまるごと保証



※本商品のご購入日から 60 日以内にお申し込みください。

センドバック保守サービスのお問い合わせ先

インフォメーションデスクへ

電話：0120-777-618
※受付時間　10：00～17：00
　月～金曜日（祝祭日、年末年始、夏期休暇をのぞく）

ご購入方法

代理店にて保守パックをご購入ください。

※ ioPLAZA では取り扱っておりません。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
5) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
6) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
8) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
9) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
10) 弊社が寿命に達したと判断した場合
11) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
12) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。Our company provide s the service under this warranty only in Japan.

[ご注意]

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

[商標について]

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●MiracastはWi-FI Allianceの商標または登録商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国または他国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。
●Windows 8、7は、それぞれWindows® 8、Windows® 7 operating systemの略称として表記しています。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

[ライセンスについて]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization
obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by
this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute,
execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the
Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to
do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including
the above license grant, this restriction and the following disclaimer,
must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and
all derivative works of the Software, unless such copies or derivative
works are solely in the form of machine-executable object code generated by
a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY,
FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT
SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE
FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE,
ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER
DEALINGS IN THE SOFTWARE.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE
Copyright (c) 1996 - 2013, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose
with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright
notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY,
FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN

NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Copyright (c) 2000-2013 the FFmpeg developers

ffmpeg is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

ffmpeg is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with ffmpeg. If not, see <http://www.gnu.org/licenses/>.

Copyright (c) 1996-2013, Live Networks, Inc. All rights reserved
LIVE555 Media Server

/**********
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version. (See <http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html>.)

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
**********/

This file is covered under the following Copyright:

Copyright (C) 2001,2006 Ross P. Johnson
All rights reserved.

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Pthreads-win32 is open software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation version 2.1 of the License.

Pthreads-win32 is several binary link libraries, several modules, associated interface definition files and scripts used to control its compilation and installation.

Pthreads-win32 is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the

GNU Lesser General Public License for more details.

A copy of the GNU Lesser General Public License is distributed with pthreads-win32 under the filename:

COPYING.LIB

You should have received a copy of the version 2.1 GNU Lesser General

Public License with pthreads-win32; if not, write to:

Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place
Suite 330
Boston, MA 02111-1307
USA

The contact addresses for pthreads-win32 is as follows:

Web: http://sources.redhat.com/pthreads-win32
Email: Ross Johnson
Please use: Firstname.Lastname@homemail.com.au

Copyright Release for
Contributions To SQLite

SQLite is software that implements an embeddable SQL database engine. SQLite is available for free download from http://www.sqlite.org/. The principal author and maintainer of SQLite has disclaimed all copyright interest in his contributions to SQLite and thus released his contributions into the public domain. In order to keep the SQLite software unencumbered by copyright claims, the principal author asks others who may from time to time contribute changes and enhancements to likewise disclaim their own individual copyright interest.

Because the SQLite software found at http://www.sqlite.org/ is in the public domain, anyone is free to download the SQLite software from that website, make changes to the software, use, distribute, or sell the modified software, under either the original name or under some new name,

without any need to obtain permission, pay royalties, acknowledge the original source of the software, or in any other way compensate, identify, or notify the original authors. Nobody is in any way compelled to contribute their SQLite changes and enhancements back to the SQLite website. This document concerns only changes and enhancements to SQLite that are intentionally and deliberately contributed back to the SQLite website.

For the purposes of this document, "SQLite software" shall mean any computer source code, documentation, makefiles, test scripts, or other information that is published on the SQLite website, http://www.sqlite.org/. Precompiled binaries are excluded from the definition of "SQLite software" in this document because the process of compiling the software may introduce information from outside sources which is not properly a part of SQLite.

The header comments on the SQLite source files exhort the reader to share freely and to never take more than one gives. In the spirit of that exhortation I make the following declarations:

I dedicate to the public domain any and all copyright interest in the SQLite software that was publicly available on the SQLite website (http://www.sqlite.org/) prior to the date of the signature below and any changes or enhancements to the SQLite software that I may cause to be published on that website in the future. I make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of my heirs and successors. I intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to the SQLite software under copyright law.

To the best of my knowledge and belief, the changes and enhancements that I have contributed to SQLite are either originally written by me or are derived from prior works which I have verified are also in the public domain and are not subject to claims of copyright by other parties.

To the best of my knowledge and belief, no individual, business, organization, government, or other entity has any copyright interest in the SQLite software as it existed on the SQLite website as of the date on the signature line below.

I agree never to publish any additional information to the SQLite website (by CVS, email, scp, FTP, or any other means) unless that information is an original work of authorship by me or is derived from prior published versions of SQLite. I agree never to copy and paste code into the SQLite code base from other sources. I agree never to publish on the SQLite website any information that would violate a law or breach a contract.
Signature:

Screen Capture Recorder

Contact me about a (free) open source license.
Basically I can release the code under "some license", but it cannot be GPL, or so I'm told.
http://social.msdn.microsoft.com/Forums/en-US/windowsdirectshowdevelopment/thread/a3e8f60b-39e4-4621-837b-50a9a9a469b7
Since you're just calling into a DLL, it might still be compatible with GPL licensed programs, as long as they just call the DLL.
See also Redistribution section in the README.

---

picojson

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.
Copyright 2011 Kazuho Oku

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY CYBOZU LABS, INC. ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CYBOZU LABS, INC. OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of Cybozu Labs, Inc.

ハードウェア保証書

修理の際は、保証書を切り取り製品に同梱するか、本書を製品と一緒に送付してください。

型　番	WFD-HEDU
保証期間	ご購入日より 12ヶ月間有効です

☆お客様	ふりがな お名前　　様 TEL.（　　）　　－ 〒□□□-□□□□ ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。

記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日 住所・店名　　印 TEL.（　　）　　－

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（裏面修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA

株式会社 アイ・オー・データ機器

進化する明日へ Continue thinking
株式会社 アイ・オー・データ機器
ホームページ http://www.iodata.jp/